

「2008年中日水環境汚濁防止と再生に関するセミナー」への参加

研究第1部
研究員
近藤 博一



日中の水環境分野での交流目的に

(社)日本下水道協会と中国成鎮供水排水協会の主催により、2008年10月28日～29日に「2008年中日水環境汚濁防止と再生に関するセミナー」が中国・北京市で開催されました。この会議は、日中の技術交流を目的に開催されたもので、産官学の研究者が水環境汚濁防止と再生のための技術に関する発表を行い、意見交換を行いました。

現在、中国では、公共用水域の水質汚濁が深刻な問題となり、日本からの技術協力が強く求められています。これまでも両国は、2004年北京、2005年東京でそれぞれ水環境に関するセミナーを開催し、研究開発および経験について情報交換し、日中の相互理解、技術レベルの向上を図ってきました。

また、2006年に中国成鎮給水排水協会が設立され、日中の下水道分野の交流と両国協会の連携をさらに深めることも目的の一つとなっています。

主に、以下のテーマに基づき討議がなされました。

- ①水環境の回復と持続可能な利用
- ②水処理や汚泥処理に関する省エネルギー
- ③汚濁処理技術と工程 ④小規模処理技術
- ⑤再生水利用 ⑥処理場運営

本会議には、日中合わせ約80名が参加し、活発な意見交換を行いました。中国からは、大学、北京城市排水集団等、約65名参加し、5名が論文発表を、また、日本からは、大学、(社)日本下水道協会、民間企業、および本機構から15名が参加し、6名が論文を口頭発表、3名がポスター発表を行いました。



LOTUSなど4テーマについて発表

発表内容として、本機構からは、以下の4テーマの論文を発表しました。

- ・「無人化ニューマチックケーソン法による雨水貯留施設構築に関する研究」研究2部 高瀬副部長

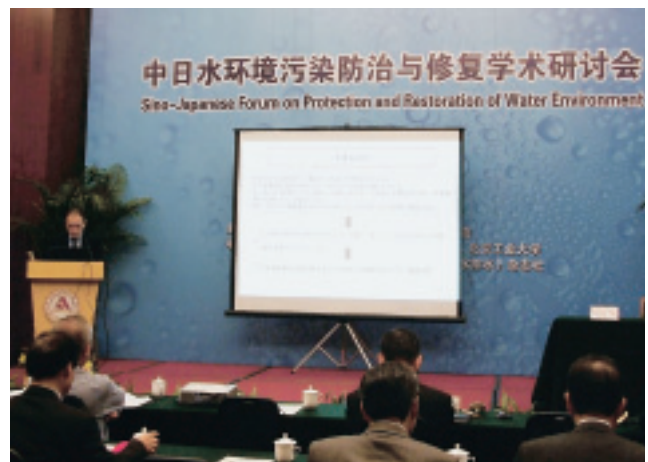
- ・「雨水ポンプ場ネットワークに関する研究」研究2部 西村総括主任研究員
- ・「下水汚泥資源化・先端技術導入 (LOTUS) プロジェクトについて」研究1部 土田研究員
- ・「下水道未普及地域における新たな整備手法に関する研究」研究1部 近藤研究員

なお、下の写真の左端にいらっしゃるの、本機構OBである(株)クボタ北京オフィスの長岡副所長です。

今回の会議において、水環境、再生水利用、下水道等、日中における様々な取り組みについて、多くの知見を得ることができました。また、中国における水環境等の現況や課題等多くの知見を得ることができ、大変有意義な出張となりました。



下水道機構からの参加者



発表の様様